

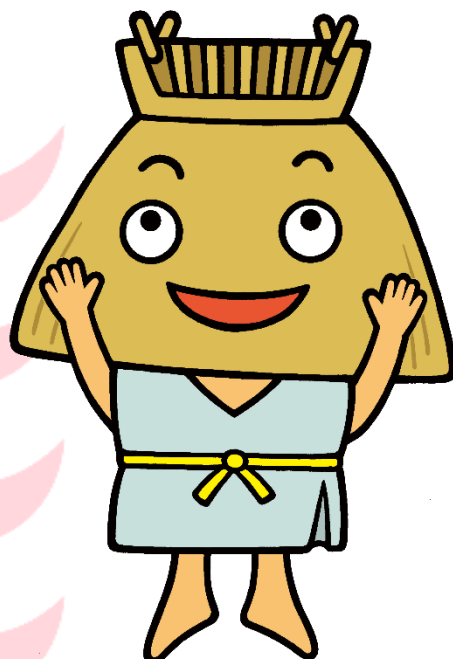
令和7年度 駿河区区民意見聴取事業

“わがまち×わかまち”会議
提案事業報告書

令和7年度テーマ

ひらめき!! 連鎖で考える駿河区アップデート

あなたの視点が、地域を救うヒントに。これからの駿河区にあなたの視点を。





【事業概要】

駿河区では、区内に複数の大学を有し若者が多いという特色を活かし、次世代の担い手である学生をはじめとした若者と自治会役員等の地域住民と区役所が一緒になって、住民主体のまちづくりについて意見交換を行えるよう、区民意見聴取事業「わがまち×わかまち」会議を実施しています。

令和7年度は、「ひらめき!! 連鎖で考える駿河区アップデート」を題材として全4回のワークショップを行い、令和8年度以降に実施可能な取組などについての意見交換を経て、最終的に5つの提案が生まれました。既存の魅力づくり事業をブラッシュアップするアイデアのほか、若者と地域のつながりを生み出すための新しいアイデアなど、駿河区が住み続けたいまちになるための手がかりになる提案をいただくことができました。

各班からいただいた提案は、令和8年度以降の魅力づくり事業への反映の検討するとともに、内容が他部局に係るものについては、関係部局へ情報提供します。

【R7年度テーマ】

ひらめき!! 連鎖で考える駿河区アップデート

あなたの視点が、地域を救うヒントに。これからの駿河区にあなたの視点を。

【対象・参加人数】

駿河区在住又は駿河区に通勤・通学している方、駿河区を拠点に活動している団体の方:18人
区長ほか駿河区役所職員:8人

【ファシリテーター】

小野寺 郷子 氏 (会議ファシリテーター普及協会 副代表理事)

【日程・内容】

回	日 程	内 容
第1回	11月27日(木)	「みんなを知ろう、駿河区を知ろう」、「こうなったらいいなを語ろう」
第2回	12月4日(木)	ミニレクチャー「ウェルビーイングで住み続けたいまちを考える」、駿河区に関係ある言葉を使い、話し合いたいテーマを5・7・5で表現
第3回	12月11日(木)	ミニレクチャー「行動経済学」、テーマから具体的なアイデアへ
第4回	1月8日(木)	まとめ・発表





【1班】おいしくて 歩いて楽しい 駿河湾

《提案の背景》

駿河区には多くの名所や魅力的な飲食店がありますが、それらがまだまだ知られていない、東西の移動がしにくいなどの課題も抱えています。区域の大半を平野部が占める特長を生かし、街歩きをしながら区の魅力を体感してほしいと考え、企画しました。

【問題】

市民が街歩きを楽しめていない

【原因】

- ・車やバス移動が多い。スマホを見ていて外を見ない。
- ・街歩きに向いている場所を知らない。
- ・場所を発見しても入りにくい。



【解決策（企画内容）】

- ①休憩所の設置（ベンチ、公園、トイレなど）
⇒気軽に利用できる施設を設置することで犬の散歩等がしやすくなる。
- ②市民向けの観光案内所
- ③エリア別に道に名前を付ける
⇒歩くのが楽しくなるような名前を付けることで街歩きを促進する。

⇒ これらをSNSや対面で発信！

【この提案に対する他班の参加者からのコメント】

- ・「市民向けの観光案内所」がSNSを見ない人に対しても考えられている。
- ・観光案内所が実現したらぜひ行ってみたいと思った。
- ・道にワクワクするような名前がついていたらいくらでも歩けそう。
- ・「エリア」の具体例が知りたい。
- ・具体的な解決策がとても良いと思った。



【2班】お茶みかん 育つ駿河区 リフレッシュ

《提案の背景》

駿河区には多くの魅力的な店舗があるにもかかわらず、市民どころか駿河区民にも魅力が伝わりきっていません。イベントを通して、若者をはじめとした区内外の人たちに区の魅力を知ってもらい、アピールしてもらいたいと考え、企画しました。

【問題】

魅力があっても誰も知らない！？



【原因】

- ・ 情報を知る機会が少ない

【解決策（企画内容）】

①静岡の街掘り起しイベントを継続的に開催！

- ・ アピールポイントを見つける
- ・ 知る人ぞ知るお店の発掘
- ・ 参加者アンケートで改善点を洗い出す



②掘り起こした情報をロードマップにする

- ・ 参加してくれた店にはトロバーステッカーをプレゼント！

③宣伝をテレビ・SNS・新聞・口コミで行う

⇒お茶みかん「**だけじゃない！駿河区の魅力を発信して**」
育つ駿河区「**を満喫してもらって、みんな**」リフレッシュ

【この提案に対する他班の参加者からのコメント】

- ・ 地元であっても自分の行動範囲しか知らないなので、情報を知ることができるイベントは嬉しいと感じた。
- ・ どこかに移住してから魅力に気付くのではなく、住んでいるうちに魅力に気付く企画はいいなと思った。
- ・ イベント参加者のターゲット層は？（大学生など）



【3班】かけぬけろ！ 1600年 自転車(パルクル)で

《提案の背景》

駿河区には歴史にちなんだ観光スポットが数多くありますが、スポットを結ぶ手段が確立していません。そこで、パルクルをはじめ、歴史を体験できる移動手段も活用しながら駿河区を周遊するコースを提案することで、駿河区の魅力発信を促進したいと考え、企画しました。

【問題】

スポットはあるが長く楽しめない

【原因】

・スポットの規模が小さく、それぞれが連携していない

【解決策（企画内容）】

目指せ駿河テーマパーク計画

⇒駿河区全体を様々な移動手段で繋ぐことで、
テーマパークのような楽しみ方をできるようにする



〈スポット〉

登呂遺跡、久能山東照宮、明治トンネル、旧マッケンジー住宅、匠宿、
静岡競輪場、地球環境史ミュージアム、旧エンバーソン住宅、日本平動物園

〈移動手段〉

①パルクル（自転車） ②バス・電車 ③かご・人力車・馬

⇒・タイムトラベル計画（時代を遡る）

・高度成長を知ろうコース

・歴史深堀りコース

・スピードorゆったりコース

・地球を知ろうコース

・匠宿：江戸職人体験、とろろ体験

【この提案に対する他班の参加者からのコメント】

- ・歴史を絡めた提案が良かった。かごで移動してみたい！
- ・自転車は特に駿河区では有効だと思う。
- ・交通→テーマパークの発想が面白い。



【4班】助け合う 駿河のきずな 日頃から

《提案の背景》

ある程度防災に対する意識があっても地域イベント等に参加する学生は少なく、世代間のつながりが希薄になっていると感じました。若い世代も参加しやすい雰囲気を作ることで、情報共有や防災訓練の効果を高めることができると考え、企画しました。

【問題】

- ・ つながる場、きっかけがない
- ・ 知らない、知ろうとしない

【原因】

- ・ 情報が少ない
- ・ 高齢化
- ・ モチベーション不足、他人事
- ・ 地元民ではない



【解決策（企画内容）】

- ・ 大学がお知らせ、授業で防災
- ・ 防災訓練
 - ・ イベント企画
 - ・ 備蓄をみんなまで→交換のタイミングでパーティー
- ・ アンケートを取る
- ・ 新しいコミュニティ（お店など、趣味の集まり）
- ・ 区役所とイオンのつながり

【この提案に対する他班の参加者からのコメント】

- ・ 当事者意識の作り方が課題になる。
- ・ 大学生を巻き込んで進めていくのは良いことだと思う！
- ・ モチベーション不足に対する解決策は？
- ・ 自分事として取り組むきっかけとなるイベントがほしい。



【5班】駿河区で 食べて歩いて みな笑顔

《提案の背景》

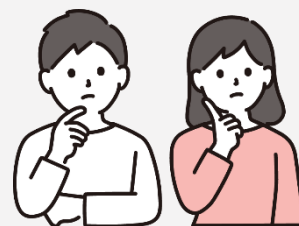
駿河区の魅力を発信するために効果的な手段は地域のイベントであると考えました。イベントの参加者を増やすことはもちろん大切ですが、主催者を育成しイベントそのものを増やすことが重要だと思い、主催者側の視点に着目して企画しました。

【問題】

「食べて歩いてみな笑顔」を達成するにはイベントが必要
⇒イベントを行うハードルが高い（主催方法、参加方法を知らない）

【原因】

- ・ イベントに関する情報が分からない、情報が少ない
- ・ 問い合わせ先を知らない



【解決策（企画内容）】

- ① 「イベントをやってみたいけど方法が分からない…」という人向けにイベントの開催方法を伝える講座を開催 ⇒**主催者を増やす**
 - ・ 企画の仕方、予算、設営方法を学べる講座
 - ・ 場所マッチング（使用できる場所と使用したい人を繋げる）
 - ・ 問い合わせ先データベース、相談窓口の開設
チャットボットやAIでスピード感のある回答
- ② イベントの広告を増やす ⇒**情報が増えることでイベント参加者増加**
- ③ イベントに必要なボランティアの告知 ⇒**学生と大人の世代間交流増加**
 - ・ 大学に情報提供を行うことで大学生の参加を促す
 - ・ ボランティアとしてイベントを体験することで主催者側の知識を得られる

【この提案に対する他班の参加者からのコメント】

- ・ 告知の重要性を感じた。
- ・ イベントの情報を大学から学生に発信してもらうのが良いと思います。
- ・ 世代間交流をしたいけど情報が少ないと思っているので共感した。



令和8年度以降事業へのフィードバック方針

【1班提案事業】

「おいしくて歩いて楽しい 駿河湾」

「休憩所の設置」については、都市局への情報提供とともに、自治会の活動を支援する区の事業としての実施を検討します。「市民向けの観光案内所」・「道の名づけ」についても、観光交流文化局へ情報提供します。またこれらの取組を区として効果的に「SNSや対面で発信」することにより、情報周知に努めます。

【2班提案事業】

「お茶みかん 育つ駿河区 リフレッシュ」

企画内容のうち、「街掘り起こしイベントを開催する」及び「区内の魅力を幅広く発信」というという提案については令和8年度の魅力づくり事業への反映を検討します。また、「SNSを活用した広報活動を行う」という提案については、今後の広報活動に反映する予定です。

【3班提案事業】

「かけぬけろ！ 1600年 自転車(パルクール)で」

駿河区の観光スポットを周遊するための取組で、いくつか挙げたコース提案については、トロバーWeekのスタンプラリーなど他のイベントとの連携を検討します。コース提案だけでなく、話し合いの中で出た課題も観光交流文化局へ情報提供します。

【4班提案事業】

「助け合う 駿河のきずな 日頃から」

企画内容のうち、防災訓練やアンケートの実施については、駿援隊講座等の内容に盛り込んでいくことを検討します。また、「地域や防災の情報を学生に伝える」という提案については、区内の大学等へ随時情報提供を行い、周知に努めます。

【5班提案事業】

「駿河区で 食べて歩いて みな笑顔」

「ボランティア活動を通じて主催者側を経験する」という提案については、スルガフェス等の魅力づくり事業における学生ボランティア活動の充実を検討します。また、「イベントの広報を増やす」という提案については、SNS等を活用し、今後の広報活動に反映していく予定です。



駿河区
SURUGA



令和8年1月

駿河区役所地域総務課

TEL : (054)287-8682